

【問12】

1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---

【問13】
複数回答可

1	2	3	4	5
6. その他 (具体的に)				

【問14】

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

【問15】

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

【問16】
複数回答可

1	2	3	4	5
6. その他 (具体的に)				

【問17】

1 (男性 人／うち 人)(女性 人／うち 人)	2
--------------------------	---

【問18】
複数回答可

1	2	3	4	5	6
7. その他 (具体的に)					

【問19】
複数回答可

1	2	3	4	5
6. その他 (具体的に)				

【問20】

1 (男性 人)(女性 人)	2	3
----------------	---	---

【問21】

1	2	3
4. その他 (具体的に)		

【問22】
複数回答可

1	2	3	4	5
6. その他 (具体的に)				

【問23】

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

【問24】

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

【問25】
複数回答可

1	2	3	4	5	6	7
8. その他 (具体的に)						

【問26】

(自由記述)

【問27】

(自由記述)

令和6年度 女性の活躍推進に関するアンケート

【湯沢市内事業所用】

本調査は、平成27年9月施行の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく湯沢市の「市町村推進計画」の策定及び推進状況の確認のため、平成27年度から実施しています。

調査結果及びいただいた御意見につきましては、今後の計画推進の参考にさせていただきたいと考えておりますので、業務多忙の折大変恐縮ですが、趣旨を御理解いただき、御協力をお願いいたします。なお、広域圏内の状況確認のため、羽後町内事業所へも調査対象を拡大し実施しております。

結果につきましては、市ホームページに掲載するほか、後日各事業所に郵送いたします。

令和6年8月 湯沢市長 佐藤 一夫

【ご回答にあたってのお願い】

1. この調査票は、事業所を調査単位としています。回答は、貴事業所のみの状況についてご記入ください。

2. 個別の事業所が特定されるようなかたちで結果を公表することはありません。

3. 令和6年7月末現在でご回答ください。

4. 回答は同封の【調査票】または【インターネット】で行うことができます。どちらか一方の方法を選んでご回答ください。

➡【調査票】の場合は、当てはまる項目の番号をお選びください。
同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに郵便ポストへ投かんしてください。

➡【インターネット回答】の場合は、
下記の【URL】または【2次元コード】よりご回答ください。

【URL】 <https://yuzawa-form.com/jyokatsu2022/>

2次元コード 2次元コード 2次元コード

回答は、令和6年9月13日(金)までに投かんまたは送信してください。

【問合せ先】 湯沢市ふるさと未来創造部 まちづくり協働課 未来づくり推進班
TEL.0183-56-8386 FAX.0183-73-2117 E-mail:mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp

＊ご協力ありがとうございました。

初めに、事業所の概要についてご回答ください。本設問表の後ろの回答用紙を切り離してご記載ください。

事業所区分	1. 本社等・単独事業所2. 支社・営業所等					
産業区分 (主な産業を1つだけ選んで番号をご記入ください。)	1. 農林漁業2. 鉱業、採石業、砂利採取業3. 建設業 4. 製造業5. 電気・ガス・熱供給・水道業6. 情報通信業 7. 運輸業、郵便業8. 卸売業、小売業9. 金融業、保険業 10. 不動産業、物品賃貸業11. 宿泊業、飲食サービス業 12. 医療、福祉13. 教育、学習支援14. 複合サービス業 15. サービス業(他に分類されないもの)					
従業員数		正 規 従 業 員				非正 規 従 業 員
		総人数	うち管理職 の人数	平均年齢	平均 勤続年数	
	男性					
	女性					
	計					

女性の就業や管理職への登用状況等について

【問1】女性従業員の比率を高めることについてどのように考えていますか。

※すでに女性従業員の比率が高い事業所においても、今後の方針について選択ください。

1. 増やしていく
2. 変わらない
3. 減らしていく

【問2】女性の活躍を進める上でどのような問題があると思いますか。(複数回答可)

1. 女性は家庭責任を考慮する必要がある
2. 時間外労働、深夜勤務をさせにくい
3. 一般に女性の職業意識が低い
4. 管理職や同僚男性の認識、理解が不十分
5. 顧客や取引先など社会一般の認識、理解が不十分
6. その他

【問3】女性が能力を発揮するにあたって、どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 女性の意識啓発のための研修等への参加
2. 性別にとらわれない公正・透明な人事管理制度、評価制度
3. 人材育成の機会を男女同等に付与
4. 男性従業員の意識啓発の実施
5. 時間外勤務の削減
6. 出産・育児休暇等からの職場復帰に関する支援
7. 取り組む必要はない
8. その他

【問4】女性管理職の人数が0人と回答された事業所にお尋ねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

1. 適当な職種、業務がない
2. 管理職に対する女性の意識が低い
3. 管理職への登用に十分な経験・能力を有する女性がいらない
4. 男性従業員の理解が進まない
5. 女性従業員が希望しない
6. 女性従業員が少ない又はいない
7. その他

【問5】今後、女性管理職の登用についてどのように取り組みますか。

1. 独自の目標を設定して取り組む
2. 30%を目標に取り組む
3. 既に30%を達成しているが、更に登用を増やしていく
4. 必要性がないので、取り組む予定はない
5. その他

【問6】結婚、妊娠、出産等に関わりなく、女性の就業継続を推進することについてどう思いますか。

1. 進めた方が良いと思う
2. できれば進めた方が良いと思う
3. 進めない方が良いと思う
4. その他

【問7】問6で、「進めたほうが良い」又は「できれば進めたほうが良い」と回答された事業所にお尋ねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

1. 会社にとってメリットがある
2. 能力のある女性がやめてしまうのは損失である
3. 経済の活性化など社会のためになる
4. 女性の管理職登用を進める
5. ダイバーシティ(多様性)を進める
6. その他

【問8】問6で「進めないほうが良い」と回答された事業所におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

1. 女性が希望しない
2. 女性は家事や子育てを優先すべき
3. 就業継続を前提とした会社運営を考えていない
4. その他

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の取組状況について

【問9】ワーク・ライフ・バランスの推進につながる取組をしていますか。

1. はい
2. いいえ

【問10】問9で「はい」と回答した事業所におたずねします。どのような取組をしていますか。(複数回答可)

1. 勤務時間の柔軟化
2. 残業縮減
3. 業務改善
4. 時間管理意識の向上
5. 特別休暇の制度拡充
6. その他

【問11】問9で「いいえ」と回答した事業所におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

1. 取組の必要性を感じない
2. 個々の業務量が多いため取組に手が回らない
3. ワーク・ライフ・バランスという概念を聞いたことがない
4. その他

【問12】年間の有給休暇の取得率は事業所全体でどのくらいですか。

1. 10%未満
2. 10～19%
3. 20～29%
4. 30～39%
5. 40～49%
6. 50～59%
7. 60～69%
8. 70%以上

【問13】有給休暇の取得を促進するためにどのような取組をしていますか。(複数回答可)

1. 時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度
2. 職場での取得しやすい雰囲気づくり
3. 経営者による有給休暇の取得奨励
4. 業務の補完・協力体制の整備
5. 特に実施していない
6. その他

【問14】令和6年7月1カ月間の従業員の平均的な残業時間は何時間ですか。

1. ほとんどなし
2. 15時間未満
3. 15～30時間未満
4. 30～45時間未満
5. 45時間以上

【問15】45時間以上残業をしている従業員は、全従業員の何%に当たりますか。

1. 0%
2. 1～4%
3. 5～9%
4. 10～14%
5. 15～19%
6. 20%以上

【問16】残業を削減するために取り組んでいることはありますか。(複数回答可)

1. ノー残業デーを設定している
2. 残業の事前承認制を取っている
3. 長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みづくりをしている
4. 職場の消灯などを強制的に実施している
5. 特に実施していない
6. その他

育児休業・介護休業の取得状況について

【問17】令和5年度に育児休業制度の対象となる従業員は何人いましたか。

1. いる(男性 人)(女性 人)うち、育児休業を何人取得しましたか。(男性 人)(女性 人)
2. いない

【問18】育児休業制度を利用する際にどのような課題があると思いますか。(複数回答可)

1. 代替要員の人材確保が難しい
2. 企業側の経済負担が大きい
3. 上司や同僚の理解が得にくい
4. 顧客や取引先の理解が得にくい
5. 復職するかどうかの保証がない
6. 復職した後、通常業務に戻るまで時間がかかる
7. その他

【問19】育児休業制度以外に従業員の育児に関する独自の支援制度はありますか。(複数回答可)

1. 始業時刻の繰り下げ、または、終業時刻の繰り上げ
2. 配置転換の考慮
3. 時間休の取得
4. 勤務時間・勤務体系の配慮
5. 特に実施していない
6. その他

【問20】過去3年間で介護休業を取得した従業員はいますか。

1. いる(男性 人)(女性 人)
2. いない
3. その他

【問21】介護の問題を抱えている従業員の把握はどうしていますか。

1. 面談による把握
2. 本人の申告による把握
3. 特に把握していない
4. その他

【問22】仕事と介護の両立を目的として、現在取り組んでいることや今後取り組みたいと考えていることはありますか。(複数回答可)

1. 介護休業制度や介護休暇制度等に関する法定の制度を整える
2. 介護に関する相談窓口や相談担当者を設ける
3. 介護の問題がある従業員に経済的支援を行う
4. 仕事と介護の両立に関する理解を深めるための研修等に参加させる
5. 特に取り組む予定はない
6. その他

採用者・求人の状況について

【問23】採用者・求人の状況について令和7年度の新卒採用予定の求人数をお知らせください。

1. 1人～2人
2. 3人～4人
3. 5人～6人
4. 7人～9人
5. 10人以上
6. 採用予定なし

【問24】問21のうち大学、大学院、短大、専門学校の新卒採用の求人数をお知らせください。

1. 1人～2人
2. 3人～4人
3. 5人～6人
4. 7人～9人
5. 10人以上
6. 採用予定なし

【問25】大学等新卒者の募集活動や人材確保はどのような方法で行っていますか。(複数回答可)

1. ハローワークへの求人
2. 大学や専門学校への求人
3. 企業説明会の開催
4. WEB企業説明会やWEB面接の実施
5. 就職情報誌やWEB求人媒体への求人
6. 自社ホームページでの求人
7. 秋田県就活情報サイト「KocchAke(こっちゃけ)」への情報登録
8. その他

【問26】大学等新卒者の求人をする上で、どのような課題があると思いますか。(自由記述)

事業所における女性の活躍推進について【自由記述】

【問27】事業所において女性の活躍を推進するに当たっての思いやアイディア等ありましたら、ご自由に記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

企業向け女性の活躍支援事業のご紹介

①国の取組

企業のイメージUP! 採用促進・福利厚生の実に!!

- ◆ 一般事業主行動計画の策定
- ◆ 女性活躍推進法に基づく認定マークの活用
- ◆ 次世代育成支援対策推進法に基づく各種認定の活用
- ◆ 両立支援等助成金(出生時両立支援コース、介護離職防止支援コース、育児休業等支援コース)の交付(厚生労働省)

関連サイト：女性の活躍・両立支援総合サイト <http://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/>

②秋田県の取組

働く女性の活躍支援! 働きやすい職場づくりに!!

- ◆ 女性活躍・両立支援コーディネーターの企業訪問による啓発
- ◆ 専門アドバイザー(社会保険労務士)の派遣、窓口、電話、メール等での相談受付
- ◆ 秋田県女性の活躍推進企業表彰など

関連サイト：あきた女性活躍・両立支援センター <http://common3.pref.akita.lg.jp/jyosei/ryoritu>

③湯沢市の取組

女性の声や視点をまちづくりに! 地域や職場での女性の活躍支援!!

- ◆ 地域や職場における女性の活躍推進を支援する事業に若者女性未来応援助成金を交付
- ◆ 地域女性活躍推進事業による各種セミナーの開催

関連サイト：湯沢市ホームページ <https://www.city-yuzawa.jp/soshiki/3/3379.html>
<https://www.city-yuzawa.jp/soshiki/3/3428.html>



湯沢市ふるさと未来創造部 まちづくり協働課未来づくり推進班

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号 TEL. 0183-56-8386 FAX. 0183-73-2117
E-mail: mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp

令和6年度 女性の活躍推進に関するアンケート回答票

【湯沢市内事業所用】

事業所区分		産業区分				
従業員数		正規従業員				非正規従業員
		総人数	うち管理職 の人数	平均年齢	平均 勤続年数	
	男性					
	女性					
	計					

回答(当てはまる番号に○をつけてください。)

【問1】	1	2	3
------	---	---	---

【問2】 複数回答可	1	2	3	4	5
6. その他 (具体的に)					

【問3】
複数回答可

1	2	3	4	5	6	7
8. その他 (具体的に)						

【問4】
複数回答可

1	2	3	4	5	6
7. その他 (具体的に)					

【問5】	1	2	3	4
5. その他 (具体的に)				

【問6】	1	2	3
4. その他 (具体的に)			

【問7】 複数回答可	1	2	3	4	5
	6. その他 (具体的に)				

【問8】 複数回答可	1	2	3
4. その他 (具体的に)			

【問9】	1	2
------	---	---

【問10】 複数回答可	1	2	3	4	5
	6. その他 (具体的に)				

【問11】 複数回答可	1	2	3
4. その他 (具体的に)			